

TOPICS3

人間ドックのご紹介



当ドックは、人間ドック機能評価認定施設です

人間ドック機能評価認定施設とは？

受診者が安心して健診を受けられることを目的として、日本人間ドック学会が定める様々な審査項目をクリアした施設が「機能評価認定施設」です。当施設は2020年、**町田市では唯一の認定施設**となりました。今年、認定の更新の年になります。機能評価を指標にして、さらに皆さまに満足していただける優良施設を目指してまいります。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。



町田市健診の期限確認を！

2025年度町田市健診の期限は、2/28までとなっております。予約人数の制限もありますので、ご予約はお早めに。受診資格や確認、受診券にかかわるお問い合わせは町田市ホームページをご参照ください。

昨年は多くの方に健診をご利用いただき、心より感謝申し上げます。
今年も、皆さまに寄り添うぬくもりのある健診をモットーに皆さまの健康づくりを全力でサポート致します。
皆さまの当ドックへの受診を、スタッフ一同お待ちしております。



Information

交通アクセス

〒194-0202

東京都町田市下小山田町1401



■多摩センター駅から

- ・無料送迎バス：所要時間 約10分
- ・京王バス：所要時間 約20分
11番乗り場 (多43) (多45)
下車：多摩丘陵病院

■町田駅から

- ・神奈中バス：所要時間 約25分
町田バスセンター 14番乗り場
(町31系統) 下車：多摩丘陵病院

■東名高速

横浜・町田I.Cより 約35分

■中央高速

国立・府中I.Cより 約25分



診療案内

【受付時間】

8:30~11:30 / 13:00~15:30

月～金・土曜(午前中のみ)

初診は午前11:00まで

【休診日】

土曜日午後 / 日曜・祝日、年末年始

【電話番号】

代表 042-797-1511
受診予約 042-797-8624
医療機関からの
患者様紹介 042-797-1516
人間ドック 042-797-1512
健診予約 042-797-7500

急患の診療は受付時間に関係なく受付しております。
診療科目により受付時間が異なる場合があります。
詳しくは外来医師担当表をご覧ください。

ホームページ

<https://www.tamakyuryo.or.jp/hospital/>



facebook



X



発行：多摩丘陵病院 広報委員会

生きる力を支えあい、ぬくもりのある医療と看護を提供します

医療法人社団 幸隆会
多摩丘陵病院

たまきゅう便り

2026.1

多摩丘陵病院広報誌 第38号

謹賀新年

TOPICS 1 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。日頃より多摩丘陵病院をご支援いただいている地域の皆さま、そして日々の診療・看護・支援業務に尽力してくださっている職員の皆さまに、改めて深く御礼申し上げます。2026年が、皆さまにとって健やかで穏やかな一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

2023年5月の新病院開院以降、当院の医療提供体制は着実に前進してまいりました。入院患者さまの疾患構成では、10%を超える主なものとして、消化器系疾患28%、筋骨格系疾患18%、呼吸器系疾患13%、眼科系疾患11%が中心となり、幅広い領域で地域のニーズに応える体制が整いつつあります。また、救急外来の受入件数は増加傾向が続き、年間3,000件を超えるまでになりました。救急外来を受診された患者さまのうち、30～40%が入院治療を必要としており、地域の急性期医療を担う役割が一層大きくなっていることがわかります。

一方で、医療を取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。物価高に追いつかない診療報酬制度や、南多摩医療圏で急速に進む高齢化など、さまざまな課題に直面しています。こうした状況の中で、私たちには戦略的な取り組みが求められています。

こうした環境を踏まえ、本年度の当院の方針をお示いたします。まず、入院医療を安定的に提供できるよう、必要な人材の確保に取り組みます。次に、効率的な病院運営を実現するため、DPC(包括評価制度)への移行を計画的に推進してまいります。今年度は3年計画の2年目にあたり、DPC準備病院として、将来のDPC対象病院への移行を見据えた組織体制の整備を本格化させる重要な時期にあります。また、救急外来受入件数のさらなる増加を目指し、院内連携の強化と入院体制の充実を図ります。さらに、地域医療機関との連携を一層深め、紹介患者さま数の増加につながる取り組みにも注力してまいります。

加えて、可能な範囲ではありますが、職員の待遇改善にも取り組んでまいります。そして何より、患者さまと職員が、また職員同士が笑顔で接し合える場面が、今以上に増える病院でありたいと願っています。笑顔は医療の質を支える大切な力です。

本年も、多摩丘陵病院は地域の皆さまの健康と安心を守るため、職員一同力を合わせて歩んでまいります。
どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団 幸隆会 理事長
多摩丘陵病院 院長 小澤 壮治





消化器センター センター長 本田 俊一郎

明けましておめでとうございます。お蔭様をもちましてこの3年間で近隣の医療機関からのご紹介も徐々に増えてまいりました。3年前に多摩丘陵病院は新病院に移転し、これを機に消化器センターを設立しました。消化器内科、外科の専門医が互いに協力し合って、消化管疾患や肝・胆・膵疾患に対する高度の医療を提供しています。地域の中核病院としてスタッフ全員で頑張っていきたいと考えていますので、今年度も引き続きご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

眼科 部長 鈴木 俊一

明けましておめでとうございます。多摩丘陵病院のセールスポイントは、ぬくもりのある医療を提供している点です。現代の医療では、さまざまな器械を使用した検査を重視するあまり、患者さまの訴えや症状を軽視する場面も見受けられます。眼科においては、常に患者さまの立場に立ち、訴えや症状を丁寧にくみ取りながら、一人一人に寄り添うような診療を行っていききたいと考えています。今年も地域の医療機関の先生方と緊密な連携を取りながら、地域に密着した医療に貢献し続けます。本年もよろしく願います。

歯科 部長 田畑 潤子

新年明けましておめでとうございます。日頃の歯科治療へのご協力ありがとうございます。当科は病院内の一診療科でありますので、様々な全身疾患を抱えた方や自分で歯が磨けない方のお口の中を良好な状態にすることで「口から食べる事ができる」ように支援する事が使命だと考えています。新年度もこの使命を大切に日々の診療をスタッフ一同頑張っていきたいと思っています。

内科・消化器内科 部長 積田 俊也

謹賀新年
旧年中は大変お世話になりありがとうございました。今年の干支は午年。飛躍と前進を象徴する年。ウマイ診療・看護・介護を遂行できるように一丸となって取り組みたいと考えております。丙年の年、何かこれまでとは違った変化が起きるかもしれません。依然と続く情勢の不安定。困難は協力して乗り越えていきましょう。皆さまにとってよい年でありますように。

整形外科 部長 塩津 達也

新年あけましておめでとうございます。
2025年4月より常勤医が従来の3名となり診療体制も前年より改善されました。2026年も引き続き現体制を維持していきますので、外来、入院、手術もさらなる拡大が可能となってまいりました。特に早期手術が生命予後に直結する大腿骨近位部骨折においては各部署連携が整い、約半数の例で受傷後48時間以内手術が可能となってまいりました。更なる改善を目指し診療にあたっております。
本年もよろしくお願い致します。

麻酔科 部長 田代 護

新年おめでとうございます。
麻酔科は地域医療を担う多摩丘陵病院の一員として、安全で質の高い麻酔を提供致します。患者さま一人一人に寄り添い、手術中の麻酔や術後疼痛管理を通して、患者さまの術後早期回復のお手伝いをし、皆さまのお役に立ちたいと考えております。急性期医療に求められる迅速かつ確かな判断に努め、安全管理を徹底して信頼を得る麻酔科を築く所存です。
本年もよろしくお願い致します。

健康管理部 部長 佐藤 美津枝

新年あけましておめでとうございます。
皆さま、人間ドックや健康診断は年に一度は受けられていますか？私たち健康管理部は予防医療の分野になります。病気は『治す』から『防ぐ』時代です。新しいオプション検査として、大腸内視鏡検査やMCI（軽度認知症スクリーニング検査）、腸内フローラを始めました。皆さまに御好評をいただいております。『自分の健康は自分で守る』ためにも、年に一度は人間ドックや健康診断を受けていただき、ご自身の健康状態を見つめる機会を作っていただけたらと思います。

外科・消化器外科 部長 中村 威

新年あけましておめでとうございます。
昨年も多くの皆さまにご信頼とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
私たちは”安全で質の高い外科医療”を使命に、日々技術の研鑽とチーム医療の充実に努めてまいりました。本年も患者さま一人ひとりに寄り添い、安心して治療を受けていただける環境づくりに全力を尽くします。
皆さまの健康と笑顔あふれる一年をお祈り申し上げます。

脳神経外科 部長 横山 治久

新年あけましておめでとうございます。
令和七年は二月に古川博規医師が着任され、入院受け入れや手術対応がこれまで以上に充実してまいりました。非常勤の先生方共々、今後とも地域の皆さまのお役に立てるよう努力をしてまいりますので、何卒宜しくお願い致します。

泌尿器科 部長 福島 岳志

あけましておめでとうございます。昨年6月より東京医科大学から外来医師派遣を増強していただき、手術日が従来の水曜日に加え、火曜日にも手術ができるようになりました。そして火曜日の外来には東京医科大学八王子医療センターの泌尿器科科長の橋本剛先生に来ていただいたことにより、最新集学的治療や当科では不可能な大手術を直接相談の上受けていただけるようになりました。太いパイプができたことは大きな進歩です。更なる充実した治療を行える環境が整ってまいりました。

救急科 田中 秀治

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は、新しく専任のスタッフとして、東京医大八王子医療センターより末永医師を迎えることができました。これによって救急外来は大きくパワーアップしました。救急部の看護スタッフも救命士スタッフも安心し、一丸となって診療に励むことができています。
さて、2025年の実績として、年間約3,500台の救急車を受け入れました。これは1日平均すると、約10台という大変な数です。そのうち約3～4割が入院となり、脳卒中や高度な救命医療を必要とする患者さまについては、日本医科大学多摩永山救命センターや東京医科大学八王子医療センターへの転送により、適切な治療を受けていただくことができました。
当院は二次救急病院として、多摩並びに町田地域の患者さまを広く受け入れ、地域医療に貢献してまいりました。これもひとえに病院皆さまのご協力の賜物であり、この場を借りて深く御礼申し上げます。本年2026年は、年間約5,000台の救急車受け入れを目標に、さらなる体制整備と質の向上に努めてまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
本年もどうぞよろしくお願い致します。